

循環型社会づくり = SDGs = 生物多様性による森づくりをめざします

株式会社ダイイチ「魂の森」プロジェクトスタート

馬ふん利用による自然堆肥の森づくりと食物栽培



地域の鎮守の森 尾前（おざき）神社を訪問、その土地にあった樹種を調査



植樹を成功させるための事前リーダー研修



タブノキ、モチノキ、マサキなど 24種類 2020本の苗を準備



従業員をはじめ一般の方 約 150名にご参加いただきました



お子さまにもたくさんご参加いただきました



敷き詰められたワラは表土を保全し苗が成長するころには土に還ります



2020年6月20日（土）植樹祭
24種類 2020本 植樹
於：海の乗馬倶楽部エルカバージョ
外乗コース北側



植樹祭の様子は Youtube でもご覧になれます

https://youtu.be/JEo_9PpRfDg

本プロジェクトの主旨

5年10年で樹林に成長 いつしか自然災害に強い「魂の森」へ

今回の植樹祭は、約6ヶ月かけて、エルカバージョより排出される馬糞を特許のミネラル触媒液を添加し、堆肥化させた肥料を約50トン使用しています。馬ふん→堆肥→魂の森再生→自然回帰という「自然環境の循環」をめざし循環型社会にどう貢献できるか挑戦をいたします。植栽にあたっては横浜国立大学名誉教授の宮脇昭先生の植栽方法「ふるさとの木によるふるさとの森」「滞在自然植生」方式を取りいれました。文化と自然と伝統を残し育てる そんな魂の森づくりをめざします。

また、牧場内にある農場でも馬ふんを利用した さつまいも作りをスタートさせ近隣の子ども達とともに食育講座もスタートいたしました。